

## 欧州環境インサイト ニュースメール

EBSニュースメール2012年3月号

「欧州環境インサイト」ニュースメール2012年3月号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- 【太陽光:英国】ガトウィック空港、太陽光発電を導入
- 【太陽光:スイス】エリコン、太陽電池部門を東京エレクトロンに売却
- 【風力:ドイツ】シーメンス、タイで初のタービン受注
- 【風力:ドイツ、フランス】リパワー、仏マイア・エオリに250MW相当のタービン供給
- 【風力:デンマーク】ベスタス、中南米最大級のプロジェクトにタービン供給
- 【水力:イタリア】EGP、グアテマラで水力発電所が稼働
- 【低排出車:スペイン】イベルドロラ、EV充電管理事業者に認定
- 【政策:ドイツ】太陽光発電の補助金、追加削減へ
- 【政策:EU】産業・研究・エネルギー委員会、エネルギー効率の国別目標を要請
- 【政策:英国】グリーン投資銀行の本部、エディンバラに設置

--- ニュース -----

### 【太陽光:英国】ガトウィック空港、太陽光発電を導入

太陽光発電事業者オーター・ソーラーは2月20日、ガトウィック空港で試験的に進めていた太陽電池パネルの設置工事が完了したと発表した。滑走路沿いへの太陽電池パネルの設置は英国では初めて。同プロジェクトはガトウィック空港運営会社の発案によるもので、企画段階では民間航空機関やイギリス航空管制公社なども参加し、運航における安全性などを検証した。総長150メートルの滑走路沿いに設置された212枚の太陽電池パネルの発電容量は50kWで、年間25トンの二酸化炭素(CO2)を削減する効果がある。ガトウィック空港の敷地内にはパネル増設が可能。同社は現在、同空港で追加プロジェクトの準備を進める一方、他の空港とも交渉を開始している。

ニュースリリース:

<http://ortasolar.com/app/download/5784203222/200212+PR+Gatwick+Airport.pdf>

### 【太陽光:スイス】エリコン、太陽電池部門を東京エレクトロンに売却

精密機械やコーティングなどを手掛けるスイスのコングロマリット、エリコン・グループは3月2日、太陽電池部門エリコン・ソーラーを半導体製造機器メーカーの東京エレクトロンに売却することで合意したと発表した。採算性の高い事業に集中する計画の一環。東京エレクトロンは2009年よりエリコン・ソーラーのアジア・オセアニア地域販売代理店として薄膜シリコン太陽電池の一貫製造ラインの販売を行ってきた。同社は今回取得する太陽電池事業を半導体製造とフラットパネル・ディスプレイに継ぐ第3の柱に位置づける方針。

ニュースリリース:

[http://www.oerlikon.com/ecomaXL/index.php?site=SOLAR\\_EN\\_press\\_releases\\_detail&udtx\\_id=9170](http://www.oerlikon.com/ecomaXL/index.php?site=SOLAR_EN_press_releases_detail&udtx_id=9170)

【風力:ドイツ】シーメンス、タイで初のタービン受注

独総合電機大手シーメンスは2月23日、タイ北東部ナコーンラーチャシーマー(Nakorn Rachasrima)県に位置する風力発電所「Korat 1」と「Korat 2」向けに低格出力2.3MWの風力タービン90基を供給すると発表した。タービンの設置は今年春に開始される予定で、年内の稼働を目指している。シーメンスにとってタイからの受注は初めて。シーメンスは風力発電事業で海外進出を加速させる方針を打ち出しており、急成長が見込まれるアジア市場に注目している。昨年12月には、中国の電機大手の上海電気と合併で、風力発電設備の製造会社と販売会社を設立している。タイに納入するタービンのブレードとナセルは中国で生産される。ニュースリリース:

<http://www.siemens.com/press/en/pressrelease/?press=en/pressrelease/2012/energy/wind-power/ewp201202031.htm>

【風力:ドイツ、フランス】リパワー、仏マイア・エオリに250MW相当のタービン供給

インドの風力タービン製造最大手スズロン・エナジー傘下の独リパワーシステムズは3月1日、フランスで陸上風力発電所を手掛けるマイア・エオリ(MAÏA Eolis)と、容量250MW相当のタービン供給に関する枠組み契約を交わしたと発表した。リパワーは2015年までに、定格出力2MW~3.4MWのタービン4種類を供給する。マイア・エオリは、仏公益・環境企業マイア・グループとガス・エネルギー企業GDPスエズがそれぞれ51%、49%出資して設立した合併事業。リパワーとは2004年より販売契約を交わしている。

参照:

[http://www.repower.de/fr/press/press-releases/detail-press/?tx\\_ttnews%5btt\\_news%5d=3701&cHash=0635259b61d172b86ae658ee2ffddeec](http://www.repower.de/fr/press/press-releases/detail-press/?tx_ttnews%5btt_news%5d=3701&cHash=0635259b61d172b86ae658ee2ffddeec)

【風力:デンマーク】ベスタス、中南米最大級のプロジェクトにタービン供給

風力タービン最大手のベスタスは3月12日、メキシコ南部オアハカ州の南東テワンテペック地峡で計画されている「マレーニャ・レノバブレス」プロジェクトに定格出力3MWのタービン132基供給すると発表した。同プロジェクトは三菱商事とオランダの年金基金PGGM、オーストラリア系ファンドのマッコリー・メキシカン・インフラストラクチャー・ファンドの3社が出資している。設置容量は396 MWに上り、完成すると中南米で最大規模となる。設置地点はメキシコ湾から太平洋へ吹き抜ける風の通り道となっており、洋上風力発電並みの風速があるとされる。タービンの納入は第2四半期中に開始される予定。

ニュースリリース:

<http://www.vestas.com/en/media/news/news-display.aspx?action=3&NewsID=3028>

【水力:イタリア】EGP、グアテマラで水力発電所が稼働

イタリアの電力大手エネルの再生可能エネルギー子会社、エネル・グリーン・パワー(EGP)は3月15日、グアテマラ北部キचे県に建設していた容量85MWの水力発電所「パロ・ヴィエホ」が稼働したと発表した。EGPがグアテマラに建設した水力発電所としては5つ目。同発電所は、ダムを設けず、自然の川の流れを利用する流れ込み式(自流式)を採用している。年間発電量は37万GWh(ギガワット時)が見込まれており、1年間で28万トンのCO2排出量削減効果があるという。EGPのグアテマラにおける累積設置容量は161MW、中南米における累積設置容量は754MWに達した。

ニュースリリース:

[http://www.enelgreenpower.com/en-GB/media\\_investor/press\\_releases/release.aspx?iddoc=1651245](http://www.enelgreenpower.com/en-GB/media_investor/press_releases/release.aspx?iddoc=1651245)

【低排出車:スペイン】イベルドローラ、EV充電管理事業者に認定

イベルドローラは3月12日、スペイン産業観光商務省から、電気自動車(EV)充電管理事業者に認定されたと発表した。同社は低排出の移動を推進するグリーン・モビリティ計画を打ち出しており、国内100カ所以上にEV用充電スタンドを設置している。今回の認定により、購入した電力を公共のEV充電スタンドなどで再販する新規事業に参入する。また、現在6都市で展開するカーシェアリング・サービス事業についても拡充を予定している。同社はスペインで初めてカー

シェアリング・サービスに進出した。現在300人以上が通勤などに利用している。

ニュースリリース:

[http://www.iberdrola.es/webibd/corporativa/iberdrola?IDPAG=ENMODPRENNAC12&URLPAG=/gc/prod/en/comunicacion/notasprensa/120312\\_NP\\_01\\_VehiculoElectrico.html](http://www.iberdrola.es/webibd/corporativa/iberdrola?IDPAG=ENMODPRENNAC12&URLPAG=/gc/prod/en/comunicacion/notasprensa/120312_NP_01_VehiculoElectrico.html)

#### 【政策:ドイツ】太陽光発電の補助金、追加削減へ

独政府は2月23日、太陽光発電による電力の固定買取制度(FIT)で、電力の買い取り価格を20~30%引き下げる法案を発表した。昨年度の新設容量が7,500MWと過去最高を記録したことを受けたもの。政府はFITで太陽光発電の導入を促進してきたが、市場の急拡大を受けて、2009年以降は助成縮小を加速させている。太陽光発電業界に対する政府補助金が膨らむことで最終的に国民の負担が増えることから、政府は今後の新設容量を年間2,500~3,500MWに抑えたい考え。1月の買取価格の年次改定では、最大15%の引き下げが実施されている。ニュースリリース:

[http://www.bmu.de/files/allgemein/application/pdf/eu-effizienzrichtlinie\\_neue\\_verguetungssaetze.pdf](http://www.bmu.de/files/allgemein/application/pdf/eu-effizienzrichtlinie_neue_verguetungssaetze.pdf)

[http://www.bmu.de/pressemitteilungen/aktuelle\\_pressemitteilungen/pm/48390.php](http://www.bmu.de/pressemitteilungen/aktuelle_pressemitteilungen/pm/48390.php)

<http://www.euractiv.com/energy/germany-announces-30-cuts-solar-subsidies-news-511104>

#### 【政策:EU】産業・研究・エネルギー委員会、エネルギー効率の国別目標を要請

欧州議会の産業・研究・エネルギー委員会は2月28日、欧州連合(EU)域内のエネルギー効率向上に向けて、国別の目標設定などを盛り込んだ新たな指令改正案を承認した。EUでは2020年までにエネルギー効率を20%改善させる目標を掲げているが、対策の遅れが目立ち、現状が続いた場合、2020年までの達成率は目標の半分にとどまると予測されている。このため、改正案では国別の基準値を用いた拘束力ある省エネ目標の設定を要請した。また、排出権取引制度(EU-ETS)に関して、欧州委員会に炭素リーケージのリスク報告や排出権留保措置の検討を求めるほか、エネルギー企業に対する省エネ義務や、公的機関に対する建物の省エネに向けた改修義務など具体的な対策が含まれている。同案は今後、欧州理事会との交渉を経て、本会議で審議される。

ニュースリリース:

<http://www.europarl.europa.eu/news/en/pressroom/content/20120227IPR39335/html/Energy-savings-committee-backs-binding-national-targets-and-CO2-set-aside-plan>

#### 【政策:英国】グリーン投資銀行の本部、エディンバラに設置

民間企業・技術革新・技能省は3月8日、再生可能エネルギーの促進など国内経済の低炭素化に向けた民間投資を促進する「グリーン投資銀行(GIB)」の本部をエディンバラに設置すると発表した。このほか、取引を主に手掛ける支部をロンドンに置く。設置都市の選定では、全国32都市が名乗りを上げていたが、グリーン関連分野の成長が顕著で、資産管理事業にも強いエディンバラが選出された。GIBは公的資金30億ポンドを投じて設立される公的金融機関で、とくに洋上風力発電、商業廃棄物のリサイクル、廃棄熱発電、商用建物のエネルギー効率化対策を優先的に支援する方針。

ニュースリリース:

<http://nds.coi.gov.uk/content/Detail.aspx?ReleaseID=423633&NewsAreaID=2>

◆◆◆「EBSインサイトレポート」2011/12年版 好評発売中! ◆◆◆

◎「欧州の環境市場と環境規制 2011-12年版」(約150ページ) 10月20日発売



サンプルページは画像をクリック！

風力発電など一部では2010年に減速感が表れたものの、欧州環境市場の長期的な成長トレンドに変わりはない。低炭素社会への移行に伴い、再生可能エネルギーを中心に息の長い市場拡大が続くと期待される。脱原発を決めたドイツは、従来以上に再生可能エネルギーの利用を促進する方針だ。本レポートは最新の統計データを中心に、欧州環境市場の動きをまとめると同時に、市場拡大の担い手である先進企業100社について、その戦略と最新動向を紹介する。

また、環境市場の動向に大きな影響を与えているのが規制の枠組みだ。2050年までに低炭素経済を構築することを目指すEUの環境規制は、気候変動政策の枠組みだけでなく、今後の資源効率政策によって広範な産業に影響を及ぼす可能性が出てきた。企業にとって制約であると同時に成長のチャンスでもあるEUの環境規制について、過去1年間の新たな規制と今後ウォッチしておきたい協議中の規制の最新動向を解説する。

#### 主な内容

##### 環境市場と先進企業100社(約90ページ)

- 欧州の先進環境企業100社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の2010年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の2010年実績と成長見通し
- 各国政府の支援制度の動向
- 分野別の成長予測

##### 環境規制動向(約60ページ)

- 2050年の低炭素経済構築に向けたロードマップ
- 原料戦略と資源効率ロードマップの見通し
- エネルギー効率指令案の概要
- エコデザイン指令の動向
- EU排出権取引の制度動向と炭素リーケージ
- 自動車(乗用車、バン、トラック)のCO2排出規制と乗用車エコイノベーション規則
- スマートシティ/コミュニティの促進
- 過去1年間の主要規制の改正動向
  - WEEE・RoHS指令、廃車指令、REACH、エネルギーラベル
- 留意したいその他の主要規制の今後の動向
  - Fガス規則の改正、エネルギーインフラ・プロジェクト支援に関わる規制、エネルギー税新指令 など

価格(PDF・全税別) :680ポンド/780ユーロ/89,000円

サンプルページはこちら ⇒ [http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam\\_env2011.pdf](http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam_env2011.pdf)

レポートのご購入はこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.html#link4>

◎「欧州エコカーの市場と戦略 - 欧州自動車産業 2011-12年版」(約100ページ)

10月3日発売



画像は 2011-12 年版です。

サンプルページは画像をクリック！

欧州の自動車市場は大きな転換期を迎えている。ロシア市場や中東欧の一部を除けば規模の成長は頭打ちとなったものの、今や欧州から世界の今後の自動車産業を塗り替えるトレンドが生まれている。厳しい環境規制や様々な産業を巻き込む環境技術、激化する自動車各社の競争を背景にエコカーとエコカーを支える社会基盤が広がりを見せてきた。本レポートでは欧州のエコカー市場とそれを支える環境規制や基盤の最新動向をとらえ、欧州を舞台とした各社の戦略と市場の今後の見通しを明らかにする。また、欧州以外でも主要乗用車メーカーが世界各地で導入を予定しているエコカーをまとめた。さらに、ロシアを含めた欧州自動車の市場・業界全般の過去1年の動きについて、販売・生産統計や各社の展開を中心に網羅する。

#### 主な内容

- 欧州のエコカーと自動車市場をめぐる重要トレンド
- エコカー市場を支えるEUの規制と環境政策
- 電気自動車はじめ欧州エコカー市場の現状と見通し
- 主要乗用車メーカーの欧州を中心とした展開とエコカー戦略
- 各社が世界で今後導入を予定しているエコカーの一覧
- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計
- ロシアの自動車販売動向と市場の見通し

価格 (PDF・全税別) : 480ポンド / 550ユーロ / 63,000円

サンプルページはこちら ⇒ [http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam\\_auto2011.PDF](http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam_auto2011.PDF)

レポートのご購入はこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.html#link4>

#### ◎「躍進するインドの産業 -インフラ・自動車・エネルギー」 (約100ページ)

8月1日発売

力強い成長を続けるインド経済。本レポートは経済と投資環境に関するマクロ情報のみならず、自動車に加え再生可能エネルギー、鉄道、道路など注目を集めるインフラ産業の最新動向と見通しを解説。インドに進出済みの企業はもちろん、これから進出を目指す企業にとっても役に立つ情報を満載した。

#### 主な内容

- インドの経済・投資動向と日系企業の進出状況
- 日印CEPAとインドのFTAの動向
- 成長のカギを握るインフラ整備の現状と主要セクターの動向、主要プロジェクト
- 自動車の販売市場、生産の現況と今後の見通し
- 自動車部品の販売動向と見通し
- 政府の自動車関連の政策
- インドにおける乗用車メーカー各社の最新動向
- 需要急増するエネルギー: エネルギー分野の状況
- 再生可能エネルギー分野(風力発電、太陽エネルギー)の現状と可能性
- 石炭・ガス火力発電の動向

価格 (PDF・全税別) : 18,000ルピー / 250ポンド / 280ユーロ / 1,500AED /  
500シンガポールドル / 33,000円 (全税別) / 410米ドル

サンプルページはこちら ⇒ [http://www.ebsukltd.com/india/pdf/sample\\_india%20report%202011.pdf](http://www.ebsukltd.com/india/pdf/sample_india%20report%202011.pdf)

レポートのご購入はこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/india/index.html#a2>

◇◆当ニュースメール配信サービス希望者募集中！◆◇-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
  - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承ください。
  - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◇◆当サービスのご利用に当たって◆◇-----

- ★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。  
<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>
- ★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。  
[news@ebsukltd.com](mailto:news@ebsukltd.com)

---

発信元◇EBS(UK)Ltd.  
1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM  
ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: [news@ebsukltd.com](mailto:news@ebsukltd.com)

---

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2011 掲載記事の無断転載を禁じます。

---